

丹波中学校だより

清流の辺

せい りゅう ほとり

平成27年11月4日(水)

No. 13

文責 丹波中学校長 梶原勝由

私の勉強方法-中学生編

担当は嶋崎志津香先生です
(次回は教頭先生です)

中学校時代、何か特別な勉強をした覚えはない。正直に言えば、授業中も騒いでいて注意されることが多かった。ただ、先生に「やってこい」と言われたことはやっていた。宿題は必ず提出したし、テスト前に先生が「ここは出す」と言ったところはしっかり勉強した。

私の唯一良かった所といえば、勉強に対するモチベーションが高かったこと。中1の段階で、既に行きたい高校、勉強してみたい学問、なりたい職業があった。もちろんミーハーな気持ちで、コロコロ変わってはいしたが、『好きなサッカー選手がいるから、スポーツ栄養士になりたい。』『家庭裁判所の調査官になって、不良少年に関わる仕事がしたい。』『イルカが好きだから海のガイドになりたい。』などなど…。(最終的には『自然』と『子ども』に関わることに絞られました。)その夢を叶えるためには、いずれも勉強して進学する必要性があった。だから、自然と『勉強しよう』という意識を持つことができ、勉強が苦痛だと思っことはなかった。たくさんの夢を描くことができたのは、幼少期にたくさんの体験をさせてくれた両親のおかげだと思っている。丹波中生の皆さん、『あなたの夢は何ですか?』

私の中学生の頃

担当は宮島東先生です(次回は堀内翔子先生です)

私が中学校へ入学したのは平成元年のことです。その時は特に理由も無いのに“平成”最初の入学生ということでなんだか誇らしい気持ちになっていたことを覚えています。

私の出身中学校の大月東中学校は、教室の窓が金属の枠にパテでガラスをくっつけてあり、さらにその窓が枠から外れてグラグラ状態。とても現代の学校とは思えないつくりでした。そんな学校に私がいたということは・・・想像にお任せします。当時の大月東中学校の生徒数はすべての学年が5クラスで全校465人程度の学校でした。東中の不思議といえば、でっかい名札にオレンジのジャージに学帽で通学、明らかに常軌を逸していました。

さて、私はこう見えて頼まれると断れない性格だったので陸上大会では中長距離(3年間)、合唱ではパートリーダー、部活動では部長、そしてクラスでは3年間学級委員長を務めていました。とにかく人がやりたくないことを頼まれてやっていた学生時代でした。それでいていたずらもしていたので先生方も「こいつはどんなやつなんだ」と思っていたかもしれません。それでも、校内陸上大会、水泳大会、球技大会、学園祭、合唱祭、ロードレース、毎学期の漢字コンクール・・・学校行事がとにかく色々あったのでそのたびに一生懸命取り組んでいたのを覚えています。また学習面においては、社会が大好きな私は社会だけはいい点をとりたかったので授業も集中して受け、基本的にはあまり家で勉強せずとも社会だけは3年間心配のいらぬ点数でした。学校生活では初めての彼女ができた、部活動で死ぬほど走らされたり、先生方と戦ったり・・・学校以外でもサバイバルゲームをしたり、釣りに行ったり、サッカーをしたりとにかく暗くなるまで外で遊んでばかりいました。中学校時代はある意味で一番自由がきく時代なのかもしれません。すべてのことが新鮮で、すべてのことに熱くなれるそんな時代だったと思います。

第50回丹波山・小菅地区 音楽祭

10月30日(金)、第50回を迎えた音楽祭が本校で行われました。4つの小中学校が練習を重ねた合唱・合奏を披露しました。本校は清流祭で発表した3曲を教職員とともに笑顔で披露しました。また、特別演奏として、バイオリニストの野武大誠さんが「情熱大陸」「チャールダーシュ」等を披露してくださり、多くの刺激を受けました。



英語暗唱大会

11月2日(月)、上野原市文化ホールに於いて、英語暗唱大会が行われ、本校から嶋崎龍弥君が出場し、結果は惜しくも4位でした。

The First American Football in Japan - The Paul Rusch Story

Do you know the story of Paul Rusch? In Japan, we know him as the "Father of Kiyosato", and also as the "Father of American football".

Paul Rusch first came to Japan after the Great Kanto Earthquake. He worked at a hospital to help injured people. Soon, he began to like Japan. He wanted to help Japanese people more and have a stronger friendship with them. So, he started teaching in Kiyosato. He worked very hard and always said to his students, "Do your best and it must be first class."



One day Paul thought, "I want to introduce American football to Japan. Young Japanese people can learn about American culture." But no Japanese people knew about football. So he taught them play and they were able to have the first football game in Japan in 1934. Paul was very happy.

However in the late 1930s, Japan and U.S. were ready for war. Paul really wanted to do something about the war. On December 7th, 1941, he spoke to the American people through the radio. He told them, "The friendship between our countries is growing. Let's stop the war!" But, it was no use. World War Two started on the very next day. Many of his students had to go to war. Paul had to leave Japan. He was very sad.

When the war ended in 1945, Paul came back to Japan and started to teach American football again. So, the people in Kiyosato were very happy to see him again.

Every January 3rd, we have Japan's biggest football game in Tokyo. The MVP gets a special trophy. We call it the "Paul Pusch Cup".

県新人柔道大会

10月25日(日)、第41回山梨県中学校柔道新人戦が山梨学院大学樹徳館に於いて開催されました。本校から嶋崎龍弥君が出場し、気迫ある熱戦を繰り広げました。結果は以下の通りです。

←66kg級> 3回戦敗退(ベスト8)

